

山寺ふるさと便り =第18号=

宝珠のしずく

題字 後藤仁田(性相院)

発行所 やまでら館

〒999-3301 山形市山寺517-1
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会



立石寺根本中堂

立石寺根本中堂御本尊薬師如来 御開帳厳修



清原正田住職



御本尊の御厨子



盛大な法要

御本尊薬師如来様へ

心より感謝

立石寺貫主 清原正田

平成25年は、御本尊薬師如来様50年に一度の御開帳と山寺御開山慈覚大師円仁様の御遠忌(亡くなられてから千五百年区切りの御法要)を迎え、山寺にとって大変意義深い一年となりました。

薬師如来様は、秘仏として厨子の内に安置され、その扉は開山慈覚大師様の50年毎の御遠忌の時に開かれることになっています。桂の木で制作され、座高は135cm。じっくりと目を開き、お参りする人々を見守って下さります。凛々しく威厳のある立派なお姿は、参拝者を魅了してやみません。その御利益は身体堅固、災難・厄除けと言われております。多くの御縁を結んでいただいたことに心より感謝しております。

期間中は全国各地より35万人を超す皆様に御参拝いただくことができました。また、地区内外の皆様より御開帳並びに関連の協賛事業にお力添えを戴き、本当にありがたく衷心より御礼申し上げます。今後も、東北の霊場山寺、宝珠山立石寺として山寺地区の皆様と共に歩んで参ります。

合掌

祝 御開帳協



門前町に長蛇の参拝客



幸福の鐘建立

御開帳 協賛事業

- | | | | |
|----------|-------|------------|-------|
| ①千羽鶴の奉納 | 4月2日 | ⑧タイムカプセル奉納 | 5月26日 |
| ②幸福の鐘建立 | 4月7日 | ⑨立石寺の無料案内 | 4～5月 |
| ③開闢法要 | 4月27日 | ⑩結願法要 | 5月31日 |
| ④稚児行列 | // | | |
| ⑤御詠歌奉納 | // | | |
| ⑥日枝神社山王祭 | 5月17日 | | |
| ⑦林舞楽奉納 | 5月25日 | | |



山寺っ子、タイムカプセルに想いを託す



雅な稚児



各町内の堂宇で法要



磐司祭 獅子踊り

山寺地区の皆さん、宝珠山立石寺さんのご支援のもと、意義深い多彩な「宝珠山立石寺御本尊薬師如来御開帳協賛記念事業」に山寺地区挙げて取り組み、実施できた事に心から感謝し、共に喜びたいと思います。

北は北海道から南は沖縄までの35万人を超す方々からご参拝頂きました。これは、開山以来培ってきた山寺の「魅力」の賜です。

今後とも地区の諸活動に邁進し、「山寺の魅力」を発信していきましよう。

御開帳協賛記念事業実行委員会
会長 石川進一
(山寺地区振興会長)



稚児117名が勢揃い

賛記念事業

特別 御開扉

- ⑪四寺廻廊 6月13日
- ⑫全国俳句大会 7月14日
- ⑬誓司祭 8月4日
- ⑭野点・記念殿公開トーク 10月20日
- ⑮特別御開扉 10月20日～26日



願いを込めた2万羽の折り鶴奉納



山形市あげて支援



稚児行列を祝う住職さん



参拝者、ようやく……



古式ゆかしく林舞楽奉納

御開張晴れて
著我の花が
とも印象的な
その階下だ。
芭蕉翁の詩から
心弾む山寺の
一頁下だ。
テニカ小原

〈参拝者からの声〉



御詠歌奉唱の皆さん



山寺行啓記念殿公開トーク

A delightful place to see for a foreigner to have a taste of the "good old days !"
Thank you for the guided tour.
Wonderful origami swans also !
Philip from London

訳：昔の風情を味わえる素敵な所です！
ガイドして頂いてありがとうございました。
素晴らしい白鳥（鶴）の折紙も。
25.5.13 フィリップ ロンドンより

〈参拝者からの声〉



写真1



図1



写真2

十六羅漢像

山寺の文化財

『山寺状』(松本笑軒著の手習い本、享保十一年、一七二六)に載っている立石寺絵図(図1)の天狗岩近くに「十六羅漢像」が祀られていると記されている。

天狗岩近くの洞(写真1)を探究したところ、石像(写真2)が見つかった。素朴な造りの羅漢像と見える。羅漢像は禅宗の寺院で大切に祀られる仏像だが、天台宗ではそう多くはない。

何故に、けわしい天狗岩の洞に祀られているのか、何時の時代の像か、これからの詳しい調査が待たれる謎多い、貴重な文化財である。

祝ふうが20周年 これからも楽しい歌を



女声合唱団「ふうが」、ゲスト演奏に、オペラ歌手藤野先生、ネイビー&アイボリー下地さん(沖縄出身)と豪華に揃い、結成20周年記念コンサート。地元の男性も協賛出演。会場(山寺風雅の国)を埋め尽くした聴衆の皆さんとの合唱は宝珠山に響いた。

記念コンサートは、山寺のもう一つの魅力。合唱団「ふうが」にふさわしい盛大なものだった。

「遊仙峡って素敵ね!!」 春の市民ハイキング



表彰・受賞

・文部科学大臣賞表彰(全国PTA活動功労者)

遠藤 正明(南 院)

・県知事表彰・山形県県土づくり感謝状

追分花壇愛好会

山田 桂樹(中地藏)

・感謝状(山形県補導連絡協議会)

遠藤比呂美(中地藏)

・山形市花壇コンクール名誉賞

山寺地区振興会・追分花壇愛好会

・表彰状(山形市総合福祉大会・民生委員)

増子 健一(所 部)

石川 麗子(中地藏)

・感謝状(山形ごみ減量推進功労者)

布施 勇治(地藏堂)

・感謝状(山形市有林管守者)

武田久之進(所 部)

全国大会出場

・少林寺拳法世界大会イン大阪

ジャパン大会(大阪府)

山寺小五年 後藤 翼斗(馬 形)

伊澤貞一氏からの 山寺開山三部作

こよなく山寺を愛した伊澤貞一氏は、昨年九月「山寺の白山さま」を上梓なされた。祖父伊澤三右衛門栄次翁の遺志を継ぎ、山寺の語り部に貴重な本を遺して頂いた。

これで、開山以前の山寺を解く貴重な著作、三部が揃った。



耳よりな話

◎山形市消防署高橋出張所に救急車配備。今までより5分程短縮。

◎最上義光公没後400年記念事業開催。新能では無形民俗文化財指定の「松山能」が上演された。

◎いち早く、猿の接近を電波で探知し、被害をくい止めるため、JA山寺支所前に「テレメトリ発信器」が新設された。

話題の人

佐藤恒男さん(川原町)
 昭和十六年三月十三日生



和菓子を作って
 60年 (商正堂)

子どもの頃、菓子作りを手伝ったことがとても楽しかった。それで家業を継ぐことを決心したと話す恒男さん。
 その後、旅籠町の老舗に住み込んで丁稚奉公。当時、小遣いは月500円。一番の楽しみは映画鑑賞で、1回の料金は250円だったと思いを語る。
 菓子作りの腕は、メキメキ上達し、5年で丁稚奉公が明け、実家へ戻って菓子作りに励む。おやじは根っからの職人肌で、息子が作った菓子をめったに褒めてはくれなかった。めげずに頑張った。親ゆずりの「もろこし」金つばを山寺名物として受け継いできている。

平成13年から3年間、山寺観光協会長として、視察した京都の清水寺商店会の町並みにと提唱。山寺門前町商店会長としては、宮城県民との交流を願った。
 現在は、立石寺自衛消防団指令長として、後輩指導の中核となって活躍している。祈る、身体堅固・商売繁盛。

お誕生

おめでとう

平成二十五年生まれ



〈所部〉
 ・増子 覚氏次女
 心愛さん



〈南院〉
 ・佐藤宏幸氏三男
 優真さん



〈宮崎〉
 ・久保田卓也氏次男
 彬史さん

おめでとう



増子 曾一 夫妻 (中地蔵)



矢萩 菊雄 夫妻 (地藏堂)



平成25年度 山寺地区振興会の活動

「子どもから高齢者まで、明るく住みやすい山寺をつくる」ため、各町内からの要望をもとに次の活動に取り組んだ。

- * 生活環境整備等のための県や市・警察等への要望活動
- * 地区レクリエーション大会や文化祭等の開催
- * 「高齢者とふれあう集い」「いきいきサロン」等高齢者との交流の場の提供

平成25年度・26年度 山寺地区振興会役員

各町内会の役員改選に伴い、振興会役員が次のように選任された。

会長 石川 進一 (中地蔵)
 副会長 水野 徹 (川原町)
 滝口 君雄 (芦沢)

執行役員

布施作治 (地藏堂) 矢萩清和 (地藏堂)
 柏倉一弥 (宮崎) 滝口 昇 (芦沢)
 伊藤英夫 (南院) 小笠原政夫 (馬形)
 武田恒雄 (所部) 後藤武平 (千手院)
 武田憲士 (千手院)
 監事 後藤 勝正 (千手院)
 佐藤 恒也 (芦沢)

平成二十五年の物故者

謹んでお悔やみ

申し上げます

- 〈千手院〉
 ・後藤てる子殿
- 〈馬形〉
 ・荒瀬 鉄雄殿
 ・東海林よしゑ殿
- 〈川原町〉
 ・水野 史夫殿
 ・笹原さだ子殿
 ・岩崎 博殿
- 〈南院〉
 ・鍾水 哲也殿
- 〈芦沢〉
 ・滝口 つよ殿
 ・原田 博子殿
 ・柏倉 賢殿
- 〈宮崎〉
 ・布施 正俊殿
 ・布施しつ子殿
- 〈地藏堂〉
 ・布施眞佐美殿
- 〈中地蔵〉
 ・奥村 光男殿
 ・面白山
- ・後藤 信夫殿
- ・遠藤 三郎殿
 ・新関 茂子殿
 ・布施ミドリ殿
- ・原田 貞雄殿
 ・伊澤 貞一殿
- ・布施 きほ殿
 ・森谷とみゑ殿
- ・布施 榮義殿
- ・佐藤ハルノ殿

“やまでらっ子”芸術と伝統芸能に!!

★ある教頭先生からは「中学生らしい使命感を持って、民俗芸能に取り組んでいる姿に感動した」と感想をいただいた。

★東北各地の多くの先生方に山寺の民俗芸能を観ていただけて良かった。

★生徒達の声
山寺小中学校の「磐司太鼓」が、東北小中学校教頭会研究山形大会のアトラクションに、大会実行委員会からの依頼で出演。
11月7日大会当日、テルサホールでの演奏は、満場から賞賛の拍手を頂いた。

感動を描く!!



昨年10月29日、山寺小中学校の児童生徒は、日本画家福王寺一彦先生から直接絵の指導を受けるチャンスに恵まれた。この企画は文化庁の『子ども夢・アートアカデミー』（芸術院受賞作家より直接指導）に選ばれ実施された。

当日、福王寺先生はご自分の感動を描いた作品をもとに絵の見方、また感動を絵に表現する実技指導をなされた。

先生の静かな、ゆったりとした語りかけの中で、自分の感動を絵に仕上げていく実体験は、子どもたちにとって忘れられない一時となったことだろう。

躍動 磐司太鼓!!



祝 学校へ移転

かじの木子どもクラブ

創設10周年を迎えた「かじの木子どもクラブ」は、山寺小中学校の皆さんに歓迎され、12月1日から山寺小中学校の校舎に移った。

12月9日に、市川山形市長さんをお迎えし、児童生徒に校舎への移転を披露。和やかに祝いをした。



市花壇コンクール
『名誉賞』受賞

御開帳期間のアイスヒル(馬口岩)からの眺望



〈御参拝者の行列が奥の院まで……〉

編集後記

「しずく18号」は御開帳が記憶と記録に残るように、併せて御参拝いただいた皆様に遍くご利益が授かるよう祈念し編集しました。

「山寺ふるさと便り 宝珠のしずく」創刊、その後編集に携わってこられた伊澤貞一さんが亡くなられました。心から感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集委員

新関 孝夫 ○布施 晶嗣
笹原 永吉 後藤 久
石川 進一 遠藤 まき子